

平成29年度「かごしま子ども未来プラン2015」重点数値目標実績

番号	数値目標項目	現状(計画策定時) (平成26年度) ①	実績値 (平成29年度)		目標 (平成31年度) ③	最終目標進捗率 (%) ④=②/③	今後の取組方針	
			②	実績値の説明 データ時点				
1	婚活サポーターの委嘱数	244人	291人	・世話やきキュービッド 188人 ・地域婚活サポーター 15人 ・企業内婚活サポーター 10人 ・マッチングサポーター 78人	H30.3.31	1,000人	29.1%	これまでの世話やきキュービッド、地域婚活サポーター、企業内婚活サポーター、「かごしま出会いサポートセンター」におけるマッチングサポーターへの参加働きかけに加え、平成30年度から九州戦略会議において九州・山口各県と一体となって取り組む「結婚・ライフプランサポート企業」にも各サポーター参加への協力を要請することにより、目標達成に努める。
2	婚活イベントの年間情報提供数	20回	54件	県ホームページ等における 平成29年度情報提供実績	H30.3.31	70回	77.1%	年度目標は満たしているが、最終目標には達成しておらず、今後も、引き続き、県内の婚活イベントの情報収集を図るとともに、「かごしま出会いサポートセンター」の登録状況や成婚事例など、結婚を希望する方の婚活を後押しする、多くの情報の発信に努める。
3	平均初婚年齢	男性 30.5歳 女性 29.0歳	男性 30.3歳 女性 29.2歳	平成29年度人口動態統計	H29.1.1~ H29.12.31	現状より若く する	-	上記の取組に加えて、「かごしま出会いサポートセンター」の周知を図るなど未婚化・晩婚化の解消に向けて取り組む。
	A いずれは、結婚しようとする未婚者の割合 (※)	70.3%	-	-	-	増加させる	-	
4	子育て世代包括支援センターの設置市町村数	-	9市町村	鹿児島市、鹿屋市、枕崎市、霧島市、奄美市、伊佐市、 (H29年度新規：薩摩川内市、出水市、知名町) ※ H30.4.1時点では15市町村	H30.3.31	20市町村	45.0%	未設置市町村に対して、設置に関する情報提供や相談対応を行うとともに、地域子ども・子育て支援事業(利用者支援事業)の活用を働きかけるなど、引き続き設置促進のための取組を行う。
	B 予定している子どもの数が2人以上と答える人の割合 (※)	63.1%	-	-	-	増加させる	-	
5	保育所待機児童数	232人	354人	・対前年度 +59人 (県分 ▲42人) (中核市 +101人) ※ H30.4.1時点では244人(暫定値)	H29.4.1	0人	-	県子ども・子育て支援事業支援計画に基づき、施設整備や保育士の確保を進め、平成29年度末までに待機児童の解消を図ることとしていた。しかし、平成30年4月1日時点で解消されていないことから、8月に実施する子ども・子育て支援会議において、同計画の見直しについて検討する予定。
6	地域子育て支援拠点の設置か所数	82か所	102か所	・県分 85か所 ・中核市分 17か所	H30.3.31	97か所	103%	最終目標値を満たしており、引き続き目標値を下回らないよう、地域子ども・子育て支援事業(地域子育て支援拠点事業)の活用を各市町村に働きかけるなど、設置促進のための取組を行う。
7	延長保育事業の受入可能者数	13,995人	27,015人	平成29年度市町村実績調査 (利用児童数 19,872人)	H29.3.31	28,107人 (※1)	96.1%	年度目標は満たしているが、最終目標には達成しておらず、引き続き最終目標値を達成するよう市町村への支援を行う。
8	病児保育事業の延べ受入可能者数	14,014人	45,037人	平成29年度市町村実績調査	H29.3.31	40,941人 (※1)	110%	最終目標値を満たしており、引き続き目標値を下回らないよう地域子ども・子育て支援事業(病児保育事業)の活用を各市町村に働きかけるなど、施設整備に向けた取組みを支援する。
9	放課後児童クラブ待機児童数	(~小学校3年生まで) 246人	(~小学校6年生まで)432人 (~小学校3年生まで)267人	(~小学校6年生まで〔小学校3年生まで〕) ・計画策定時との比較+186人〔+21人〕 (県分 +128人)〔+89人〕 (中核市 +58人)〔▲68人〕	H29.5.1	0人	-	待機児童数については、各市町村が平成31年度までの解消を目標としており、その達成に向けて、学校施設等を利用した児童クラブの設置を一層推進するなど市町村の取組を支援することとしている。その一環として、学校現場の理解を得やすくすることを目的に市町村の福祉部局と教育委員会の協議の場である市町村運営委員会の設置促進などの取組を行う。
10	ファミリー・サポート・センター設置か所数	12か所	18か所	鹿児島市、和泊町、始良市、薩摩川内市、鹿屋市、枕崎市、志布志市、霧島市、徳之島町、出水市、西之表市、いちき串木野市、南さつま市、奄美市 (H29年度新規：南九州市、垂水市、指宿市、伊佐市)	H30.3.31	20か所	90.0%	年度目標は満たしているが、最終目標には達成しておらず、仕事と家庭の両立支援や子育て支援等の充実に向け、未設置市町村に対し設置に関する情報提供を行うなど、引き続き設置促進のための取組を行う。
	C 子育てがしやすくなったと感じる人の割合 (※)	7.6%	-	-	-	増加させる	-	上記の取組を通じ、目標達成に努める。
	D 妊娠・出産、子育てに関する医学的・科学的に正しい知識を理解している人の割合 (※)	-	-	-	-	70%	-	
11	男性の育児休業取得率	1.3% (※2)	2.3%	労働条件実態調査(平成29年度)	H29.9.30	6.4%	35.9%	男性の家事・育児参加を促進するため、目標達成に向け、労働局や関係機関と連携して、育児・介護休業法や各種助成制度について引き続き周知・啓発を行う。
12	ワーク・ライフ・バランスの推進を行っている企業の割合	50.7% (※3)	48.3%	労働条件実態調査(平成29年度)	H29.9.30	70%	69.0%	企業の仕事と家庭の両立支援や子育て支援策の取組を促進するため、目標達成に向け、労働局や関係機関と連携して、ワーク・ライフ・バランスについて引き続き周知・啓発を行う。
	E 仕事と家庭の両立がしやすくなったと考える県民の割合 (※)	9.8%	-	-	-	増加させる	-	

注1 A~Eの項目については、5年後の県民意識調査の結果により評価を行う。

注2 最終目標進捗率のうち、5. 保育所待機児童数及び

9. 放課後児童クラブ待機児童数は、現状からの減少率を進捗率として記載。

(データの出典等)

※1 各市町村が子ども・子育て支援事業計画で設定した数値目標を県で積み上げた数値

※2 労働条件実態調査実績(平成26年度)

※3 労働条件実態調査実績(平成24年度) 3年周期で実施している附属調査結果